

30L-am03

大茴香精油と *trans*- アネトールが情動行動に及ぼす影響

○宮川 三千世¹, 行宗 千裕¹, 石橋 歩弥¹, 清宮 はるな², 佐藤 忠章¹,
長谷川 登志夫², 山田 英夫³, 小池 一男¹ (¹東邦大薬, ²埼玉大理工, ³山田松香木店)

【目的】スターアニスは、トウシキミ (*Illicium verum*) の果実を乾燥させたもので、八角、あるいは大茴香と呼ばれる香辛料の一種である。その精油は刺激の強い精油の一つであり、主に整腸や女性ホルモン様作用を目的に使用される。また、精油は刺激が強く特徴的な香気を有していることから、情動行動に対しての作用の可能性が考えられる。そこで、スターアニス精油と主要成分である *trans*-アネトールの情動行動に及ぼす影響について研究を行ったので報告する。

【方法】スターアニス精油は、ヘキサンにより抽出を行い、ヘキサンを留去することにより調製した。まず GC により成分分析を行ったところ、約 90% の *trans*-アネトールの存在が確認できた。次にスターアニス精油の情動行動に及ぼす影響について調べるためにマウスを使用した行動薬理試験を行った。ICR 系 5 週齢の雄マウスを 1 週間単独飼育した後、90 分間ガラスコンテナに入れ試料を吸入させた。そして、不安関連行動評価法の一つである高架式十字迷路試験 (10 分間) を用いて情動行動の評価を行った。行動薬理試験で検討した試料は、スターアニス精油、*trans*-アネトール、そして化学合成により得られた *trans*-アネトールの各種誘導体である。

【結果および考察】スターアニス精油と *trans*-アネトールを用いた実験では抗不安様作用の傾向が認められた。このことから、スターアニス精油の抗不安様作用は *trans*-アネトールに起因していると考えられる。さらに、*trans*-アネトールの各種誘導体を用いた行動薬理試験を検討中であり、抗不安様作用との構造活性相関、さらには抗不安様作用と香り認識との関係について考察を行う予定である。